

(参考)核融合科学技術分野に関する研究開発課題の中間評価結果(抜粋)

令和6年に、ITER機構より各極に対して、ITER計画の「ベースライン」更新に係る提案が行われる予定である。核融合科学技術委員会において、提案の妥当性や、原型炉研究開発ロードマップ等への影響など、ITER計画・BA活動を含む、フュージョンエネルギーの推進に向けた活動全般について俯瞰的な観点から、別途、補完的に議論を行う必要がある。

令和6年3月 科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会

7月10日

- 核融合科学技術委員会・原型炉開発総合戦略TF 合同開催
 - ・ITER計画の進捗状況、「ベースライン」更新等に係る説明を聴取・質疑
 - ・新しい資本主義実行計画 改訂版、統合イノベーション戦略2024の報告

- 核融合科学技術委員会
 - ①中間評価の補完的議論
 - ・ITER機構の提案の妥当性や、原型炉の研究開発計画への影響など、俯瞰的な議論を実施
 - ・ITER計画の国内機関であるQSTから、科学技術諮問委員会(STAC)、運営諮問委員会(MAC)等の観点から、ITER機構の提案の分析結果を報告・議論
 - ・原型炉開発総合戦略TFの報告も踏まえ、フュージョンエネルギーの推進に向けた活動全般について議論
 - ・ITER機構の「ベースライン」更新に係る提案の妥当性について、審議

- 原型炉開発総合戦略TF
 - ①原型炉研究開発ロードマップの見直しに向けた検討
 - ・ITER計画のベースラインの改定も見据え、原型炉研究開発ロードマップの見直しに向けた議論
 - ・ITER計画/BA活動の知見や新興技術を最大限活用し、バックキャストに基づくロードマップを策定
 - ②原型炉実現に向けた基盤整備
 - ・QSTやNIFS等における取組(研究開発・人材育成・アウトリーチ活動・イノベーション拠点化等)の具体化

夏
→
秋

ITER
理事会

- 研究計画・評価分科会
中間評価の補完的な議論の結果を報告
- 内閣府 核融合戦略有識者会議
早期実現を目指した国家戦略の改定